

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 C h a p p y

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 Wish-s-SH (安定型次亜塩素酸ナトリウム 100ppm)

表 題 殺菌効果試験

2022 年 08 月 23 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

株式会社 C h a p p y

2 検 体

Wish-s-SH (安定型次亜塩素酸ナトリウム 100ppm)

3 試験概要

分析試験成績書第22087699001-0101号で有効塩素を測定した検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地(腸炎ビブリオは3 %塩化ナトリウム加SCDLP培地)で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)				
		開始時	15秒後	30秒後	45秒後	60秒後
大腸菌	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	9.2×10^5	—	—	—	9.5×10^5
レジオネラ	検 体	—	5.3×10^3	<100	<100	<100
	対 照	3.5×10^6	—	—	—	2.9×10^6
緑膿菌	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	4.2×10^5	—	—	—	9.6×10^5
サルモネラ	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	7.4×10^5	—	—	—	5.7×10^5
黄色ブドウ球菌	検 体	—	1.3×10^4	<10	<10	<10
	対 照	4.9×10^5	—	—	—	4.4×10^5
MRSA	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	9.2×10^5	—	—	—	6.9×10^5
腸炎ビブリオ	検 体	—	<10	<10	<10	<10
	対 照	9.3×10^5	—	—	—	1.1×10^6

<10及び<100：検出せず

保存温度：室温

対照：精製水(黄色ブドウ球菌及びMRSAは生理食塩水,

腸炎ビブリオは3 %塩化ナトリウム溶液)

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Legionella pneumophila</i> GIFU 9134(レジオネラ) ③ <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275(緑膿菌) ④ <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> NBRC 3313 (サルモネラ) ⑤ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌) ⑥ <i>Staphylococcus aureus</i> IID 1677 (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌：MRSA) ⑦ <i>Vibrio parahaemolyticus</i> RIMD 2210100(腸炎ビブリオ)
	試験菌①、③及び④	前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社]，35℃±1℃，18～24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL
	試験菌②	前培養：B-CYE α 寒天培地[栄研化学株式会社]，35℃±1℃，2～3日間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁸ ～10 ⁹ /mL
	試験菌⑤及び⑥	前培養：普通寒天培地，35℃±1℃，18～24時間 菌液調製溶液：生理食塩水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL
	試験菌⑦	前培養：3%塩化ナトリウム加普通寒天培地，35℃±1℃，18～24時間 菌液調製溶液：3%塩化ナトリウム溶液 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	15秒，30秒，45秒，60秒(室温)	
中和条件	試験菌①～⑥：SCDLP培地[塩谷エムエス株式会社]で10倍希釈 試験菌⑦：3%塩化ナトリウム加SCDLP培地で10倍希釈	
対照	試験菌①～④：精製水 試験菌⑤及び⑥：生理食塩水 試験菌⑦：3%塩化ナトリウム溶液	
生菌数測定	試験菌①及び③～⑥	35℃±1℃， SCDLP寒天培地[塩谷エムエス株式会社]，混釈平板培養法 2日間
	試験菌② B-CYE α 寒天培地，平板塗抹培養法	35℃±1℃， 7日間
	試験菌⑦ 3%塩化ナトリウム加SCDLP寒天培地，混釈平板培養法	35℃±1℃， 2日間

以 上